

我等の俳句

木村圭石

我等の俳句は、勿論新傾向俳句... 俳句の革新と云ふのは、天保の俳句の衰退を挽回して、當時に存在して居た俗感...

刻々と

手術は進む深雪かな... 作者は外科醫です。室内では刀を執り切開手術に着手しては...

素

春の水が汪洋として蛇籠をも深く浸してをる... 蛇籠の目から源五郎虫が、ふいと泳ぎ出て春水に浮き出たと云ふ句です...

念

或る百姓家の書齋時で皆一時にひっそりと眠つて居た。其内或一人が起き出るが早い。其まゝに野良へこそりといふ物...

暮

舞子が二人、唯一本の傘を、おもひよりにさして通つてをる。さうして何か話して合はる。それもあり口を利かずに顔で科して意味を通じ合つてゐると云ふのであります。舞子のひととなしやかと色づいてゐるところがよく出てゐると思ひます。韻語が氣が利いてゐます。...

情

舞子が二人、唯一本の傘を、おもひよりにさして通つてをる。さうして何か話して合はる。それもあり口を利かずに顔で科して意味を通じ合つてゐると云ふのであります。舞子のひととなしやかと色づいてゐるところがよく出てゐると思ひます。韻語が氣が利いてゐます。...

雲

小春の暖かな雲に誰か人がゐるらしい。雲子はしまつてゐるのを見れば、小功主らつてゐる影法師が映つてゐる。若しくは足音でそれと悟つたか、鬼に角小僧さんが障子の外で、ひそひそと、何かやつてゐるのが判つてゐるといふ句で小春らしい感じが出てゐます。

見ない程で、實に恐ろしいモウイ... 夢もまた三軒のルアに入つて、工事中の家屋があたりを帯に如く、何にも新開地らしい活氣を漂はせてゐた。...

旅の捨ひもの

朝もやの消えない中にボツカ... ツーに向けて又候駆け出したが、町の出口で、どうも迷ひだした。...

さてマリ、ヤダが本年正月汽... 車も通らなくなった。現在では此の鐵道に依る便の外に、ノロエステ方面に向けては、ペンナを...

今から七八年昔アルベスに居... を構へて居て、リオドペンシの上流地方からアルトカフエザール...

五年前人間臭い所に出る為め... にはタツタ一筋の山道しか持たなかつた當地としては今日の交通...

おつとあふない。變な事を氣... にしてる。車が轆轤の上に飛び出た。...

なる程ブラジルはサンパウロ... 州は日本の何倍か大きいが役に立つ土地は少ないものだとなつた。...

望おをのい善てくすや... へ店當は方のみ

母國の映畫來る

映畫プログラム 御大典映畫 日本週遊 山陰大震災 其 他

西洋喜劇 二卷 豆六茶釜 三卷 父は何處へ 六卷 怪人「狼」 十五卷

南米日本映畫 宣傳團 一同

御料理 秋の夜長の酌は 新開地の鶴の家で

鶴の家 コンセレイロフ ルタード 四十三番

料理師 ばそんごう 致強勉と精しと旨を潔清、修改内店すまひ類を爾愛御の舊倍率何すまし

CASA AOKI LINS 貨雜外内 店商木青

CASA TAIYO Caixa, 76 - ALTO CAPEZAL 太陽商店

Casa Uehara 賣販貨雜及品料食 店商原上

Casa Palma ARAÇATUBA - E. F. N. B. 正直 薄利多賣

CASA CRYSTAL ALMEIDA BARROS & FILHO Rua Olavo Bilac, 24 LINS

TACO DE OURO 球戲場

Garage Congresso 貨自動車は同胞選手の居る

ペンソングレツソ

鶴 油醬等上

FABRICA DE MACARRÃO JAPONÊZ SHIROMA & IRMÃO Av. 13 de Maio, 67 LINS

子葉 防迫菓子店

武田商店

東洋寫眞館

遠藤商店

Laboratorio Chim. Phco. "Japonez" RUA ASSEMBLÉA N. 31 SÃO PAULO

防水式 上等スツク カフェー乾燥用運搬用、バラツク用

時代は走る!!! ACEVROBEL

大河内薬化学研究所

不動産移讓税

大に死亡に依る譲渡、即ち遺贈、贈与の場合の税率は、遺贈者と相続者との親等遠近に従つて次の如き差がある。

子又は親が相続する時 一〇
 兄弟姉妹、伯叔父母、叔母又は尊屬親 一〇
 兄弟姉妹の孫、甥姪、伯叔父母、叔母又は尊屬親、甥姪、兄弟姉妹の孫 一五
 其他の六等親等 二〇
 其他の六等親等 二〇
 相続者が外國に在る時は上記の率の外更に相続財産が他州に在る時は上記の率の外更に納税義務者が納むべきも移讓税は譲渡人が納むべきものと云ふに、民法の規定に従へば、當事者間に特別の約定が無ければ、證書作成費用(タペリヨンの費用)や移讓税は、讓受人が負擔しなければならぬ。

又移讓税を納める場所は、公證人から納入通告書(ギイア)を作成して、移讓不動産所在地の州の税務署(コレットリヤ)へ拂うのが原則であるが、首府では大蔵部(セクレタリアト)で受取つて貰ふ事が出来る。

因に本年一月から、不動産買證書を作成する時は、地租(インポスト、テリトリヤ)に就いて、運納證明書を税務署から貰つて、之を呈示轉記して貰はなければならぬ事になつてゐる。

世界柑橘業の大勢と伯國

今一、二三年の合衆國の柑橘生産額を示せば次の通りである。

カリフォルニア産	1,100,000箱
フロリダ産	1,100,000箱
オレゴン産	1,100,000箱
ワシントン産	1,100,000箱
その他の州産	1,100,000箱
計	5,500,000箱

北米の柑橘栽培の特色は、夏期雨少なきが爲めに園内に大規模の灌漑設備をなすこと、各期霜害の豫防に石油ストーブ使用にあり、又栽培距離廣く、栽培より運果運送に至る迄總ての作業は精巧なる大機械を使用し、「ボンド」の強壓を以て一分間に八〇—一六〇「クワート」の濃液を噴出する、ガソリンポンプを用ひらるゝ。

北米合衆國の柑橘の大部分は國內に消費せらるるが、一部は「カナダ」州の州果物取引所に其廣告及販路の擴張等に遺憾なき活動をなしてゐる。

西印度諸島の主要なる柑橘は「グレージュフルト」にして其の最近の各島の年平均生産額は次の通りである。

ボルト	50,000箱
キューバ	100,000箱
ジャマ	100,000箱
イカマ	100,000箱
計	350,000箱

伯國の生産地は「ニューサウスウェールズ」にして「ビクトリア」之に次ぎ廣く各地に分布せらるゝ。主なる品種は「ネーパルオレンジ」及び「パレンシヤ」の二種にして、一九二三年に於ける各地の栽培面積は次の如くである。

ニューサウスウェールズ	3,600ヘクタール
クィーンズランド	4,500ヘクタール
タスマニア	1,200ヘクタール
サウスオーストラリア	5,000ヘクタール
ウエストオーストラリア	3,000ヘクタール
計	17,300ヘクタール

以上の面積は全州の面積に比すれば僅少なりと雖も人口甚だ稀薄のため生産額は國內消費を超過し近年英國に輸出を試み、ついで果實の品質は南阿州に優れるも「クィーンズランド」の由にて海上輸送(華氏四十度の冷蔵庫)に六—八週間を要する爲め腐敗を生じ大いに苦心してゐる。

南阿州の柑橘の生産地は「トランスバール」「ナタール」より「ロデシヤ」東地に迄及び大戦前「ワシントン」及び「パレンシヤ」等盛んに栽培せられ戦後再び増産を經つて、一九二三年の面積は凡そ二二、五〇〇ヘクタールに達し、一〇〇「アル」に達し、經營者大なるもの多く「トラスバール」には二二、五〇〇「アル」の園を有する會社あり、之れ世界最大の柑橘園であるといはれて居る。

Y. KINJO
 CIRURGIÃO DENTISTA
 Rua Vergueiro, 123
 TEL. 7-3384 - S. PAULO

牙科
金城山戸
 聖市ウエルゲイロ
 一二三

CLINICA DENTARIA
 R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029

牙科
郎一眞上村
 九 スターゼルサ・デ・デンコ 市聖
 番九二〇三二話電
 (ひ向筋店商失中)

院醫科齒藤伊
馬達藤伊
 ソイセンコ、ライヴ
 イグリビ

Dr. JAYME DE OLIVEIRA
 ARAÇATUBA

手術、分娩、婦人病
光線
 最新式電気治療機、最新式電気治療器、最新式電気治療器、最新式電気治療器

DR. K. DAIAN
 MEDICO
 Araçatuba

八喜庵大
 (店商原大) パイッサラア

翻譯と法律
 聖市ウエルゲイロ
 一二三

さんば
 坂元なを子
 聖市ウエルゲイロ
 一二三

Dr. T. Watanabe
 R. Bras Cubas, 125
 Tel. 1757 - Santos

士學醫
渡邊勸
 電話一七五七

Pharmacia Tabatinguera
 Rua Tabatinguera, 2 - Tel. 2-5315

内外藥品一切
 調劑正確、迅速
 安價、凡ての御用命に應ず

PHARMACIA BARROS
 ARAÇATUBA

内外藥品一切
 調劑は絶体
 正確です

大坂商船株式會社

早くて確實な
 優秀の大型客船

日本より
サントス丸
 七月廿二日 サントス 發
 七月廿四日 リリオス 發

有名な北米諸港を御見物の好機

日本より
マニラ丸
 八月十日 サントス 着

ARTURDES DOS SANTOS & CIA.
 S. Paulo - R. Barão de Ipojuca, 39-41A
 Santos - Rua do Comercio, 84

日本と南洋の間に御見物の好機
 日本と南洋の間に御見物の好機
 日本と南洋の間に御見物の好機

酒寄守

ARMOUR
 Armour of Brasil Corporation
 FRIGORIFICO - S. PAULO
 Alameda Cleveland, 34-A - Villa Anastacio (Lapa)
 Caixa Postal, "4" - S. PAULO

屠殺殘物肥料
 (Anibus Frigorifico)
 窒素含有量 四・五〇%
 骨磷含有量 二八・一三%
 千キロに付き 三百八十斤

乾血肥料
 (Sanguine Secco)
 窒素含有量 一四・〇%
 千キロに付き 六百五十斤

アルモール印肥料
ADUBO ARMOUR
 窒素含有量 六・〇%
 千キロに付き 四百斤

多年日本人農業者諸君から好評を博し
 つゝある當アルモール會社製肥料は從
 來

F. Ambrosio & Cia.
 Rua José Bonifacio, 39
 Phone 2-1298 - Caixa, 152
 SÃO PAULO

皮革、なめし皮、履物、
 カバン、其他旅行用具各種

KALKMANN IRMÃOS & PETERS LTD.
 Rua das Flores, 46 - Caixa, 1970
 SÃO PAULO

Insecticidas e Fungicidas "I G"

ウスプルン
 ユニベルサル

本劑はアロイス、ミリオ、綿、野菜類及びタバチニヤの殺菌消毒を目的として砒素と水銀との有機體を基として調合され、特にタバチニヤに其の効著しく、在聖市日本帝國領事館農事課がコチャ山下下島吉農場に於て御試験の結果優秀にして且經濟的なる種手消毒劑なる事日新聞第六百一十一號に御發表ありしものであります。

ウスプルン・ユニベルサル及びバヤール殺菌劑及び消毒劑の目錄表一報次第呈呈

NOSPIRIT
 はタバチニヤ、トマテ其他の病虫害に特効あり

NOSPRASIT
 はタバチニヤ、トマテ等のバキリーヤ殺菌の速効藥
 棉のクワケリに特効あり

AGENCIA

Ford

de Pinheiros
 C. L. NICHOLLO

今般下記の所にフオード代理店を開きました

客用自動車
 貨物自動車
 其他

品一切、長期月賦の便も御取計ひ致します。

當工場の修繕も是非お試し下さい。

Loja: Rua Arco Verde, 350-A
 Officina: Av. Vital Brasil, 15
 Pinheiros - S. Paulo

MISSÃO JAPONESA DO BRASIL

聖州義塾
 寄宿舎、夜學校
 葡語通信教授

主任 **小林美登利**
 サンパウロ市ガルボンブエノ八十五

サンパウロ教會
 日曜學校(午後四時)
 大人集會(午後八時)

Caixa, 24 - S. Paulo

COLLEGIO CATHOLICO JAPONEZ
 SÃO FRANCISCO XAVIER
 Rua da Liberdade, 148 - S. Paulo

社團 聖フランシスコ學園
 法人 邦子女の理想的教育
 機關 寄宿舎通學

よく晴れた者のみに許された喜びの收穫時期が参りました。本園では来る七月一日からいよいよ第二學期が始ります。

規則書詳細は左記に

聖市リベルダデ街一四九
 主任 **青木新刀**

大同政談

鈴木源十郎 林不志作

【第十回】
 妻をさよのあひだにはもう年
 うに備へておとと云ふ。さよの
 どのが一日早くおととを
 どのが一日早くおととを
 どのが一日早くおととを



梅毒妙薬

梅毒妙薬
 高麗薬店に有り
 武士の娘が茶屋女に...とは
 思つたが、それも時勢の時勢で
 方がないと諦めたおととは、田原
 町の茶屋女に身をまかせ、毎日
 三軒前へ通つてゐるのである。

村田 眞眞館
 フルナンデス一〇一
 三々五々人の住来する蔵前の
 道を、道が駒形から雷門をさ
 けて流ればはるばるのふさふさ
 と、おとと、また、

CASA TOKIO
 RUA STA. EPHIGENIA 11-A
 TEL. 5-5544 CAIXA. 1005

家具は
 カイゴ東京へ
 邦人家具商の古參

HOTEL CARLTON
 Rua Libero Badaró 26-1.
ホテルカールトン
 は何故澤山の日本人方から御
 員に預つて居るのでせうか
 市目抜の場所、日本領事館は左隣り四軒
 目、使用人達の親切丁寧、かゆい所に手の届
 く様な客扱い、宿は市内と思はれぬ閑静で、
 しかも清潔、お美味いお食事、そして大勉
 強のお値段
 ◎御出聖の際は是非
 ホテルカールトンへ

成 功 館 古謝將義
 サントス市 ラルゴ・セツテ・デ・セテンソロー一五
ホテル平和
 館主 小濱松助
 大阪商船符取次所

Hotel S. Paulo
 Rua General Osorio, 24
 TEL. 300
 Ribeirão Preto
東洋旅館 梅田金次郎
 貸自動車八三番
 バウリスタ線マリ、ヤ驛
 ル・ア・サントリス

CASA JAPONEZA
 GUARANTAN
村上商店
 グアラントラン驛
 各船舶に食糧賣込業
 御用達 ヤマカ合資商會
 前田、小淵、合同經營
 サントス港マルチン・アホンソ一四一 電話一九七三

M. HARADA
 ENGENHEIRO
 建築 設計 製圖 土地測量 道路設計
 計等の請負監督の御用に應じます
公認技師 原田政平
 R. Barão de Paranaguá, 1-9 and. 465
 Tel. 2-3364 São Paulo
北パラナ珈琲地帯
 Kato Ussui, Caixa, 140 Guarará E. F. S.P.P.
 御望の方は多少不問白井介仁事務所へ御問合せを乞ふ

ALFAIATARIA ICHIE
 Rua Conde de Sarzedas, 43
石井洋服店
 (同館族盛帯) 三四 街デッコ
 三七六一二 話電

Aduhos Fortuna
 RUA SÃO BENTO NO. 291
 S. Paulo
化学肥料販賣
 硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、
 硫酸加里、石灰窒素、骨粉、硫黄、
 殺菌剤、調合肥料、(バク、野菜其他)
 地質試験、フルミンシダ、ペンソク
 レオル類、フルツナ肥料製造
 委託販賣業
 若 月 操
 倉庫 ビネイロ、メルカド際
 自宅 ビネイロ、ペドロソ、デ
 モラエス 三七

Fernando Hakradt Cia.
 Rua de S. Bento, 23, 2 and. sa'la 7
 CAIXA, 948 - S. PAULO
肥料
 作物に肥料は一番大切
 です、弊店の肥料は獨
 逸式で茅、綿、野菜、
 珈琲、ミリオ等夫々別
 の肥料を差上げます、
 品物は極上有効、日本
 人諸君には特に御便利
 を計ります
トラクッハ、ドンナルエフ
會 商
 番三十二トペンサ アル 市聖
 八四九四郵一室號七階三

ZERRENNER, BÜLOW & CIA. LTDA
 SECCAO TECHNICA
製氷機 リン
 デー、H M
G 印重油モートル
製罐機、製材機、
ポンプ、マンテイ
ガ製造機一式、ブ
リキ、鐵材、裁斷
機、精米機、ブラ
ジル型、洗濯機
械、煉瓦製造機、
VOMAG 印
カミニヨン
 部作工會商一ローユビ.ルネンレエツ
 RUA MAUA, 279 - 283 - S. PAULO

CASA CATTINI
 R. General Carneiro. 11
 TEL. 2-4274 S. PAULO
洋服!
 カジミール及びブリンの洋服仕立並に
 股方、御婦人、御子供さん方の出来合せ服
 外装、雨合羽、御婦人方のコート類
 は特別仕立
 子供服各種多敷其他異服反物類の
 御用命は特別廉價な
 當 店 へ

瀬木商店
 1. SEGUTI - Caixa. 1771
 Rua Conselheiro Furtado, 12 S. Paulo
 より美しく
 より晴やかに
 お化粧品の極致は母國産
 化粧品の御愛用に依つて
 のみ始めて達成されます
 クラブ練白粉 白色美顔水
 御園練白粉 ホーカイ液
 クラブ練白粉 金つる香水
 御園粉白粉 白 椿 油
 クラブ白粉下 本 椿 油
 クラブクレム 三 輪 石 鹼
 クラブ化粧水 花 王 石 鹼

Tobias de Barros & Cia.
 シェヴロー
CHEVROLET
 乗用並貨物用自動車
 (長期月賦拂)
 最新式機械工場
 トビヤス・デ・バーロス會社
 PRAÇA DA REPUBLICA N. 28
 CAIXA POSTAL, 37 - SÃO PAULO

醫學士の相談會

來週所領事館で... インテリオル(醫局)をこしらえて...

立呑み座り呑み

因業な店主の値上げ手段... シーカラ一杯のカフェーが百文...

カフエーの

立呑み座り呑み... 因業な店主の値上げ手段...

日本物のフィルム

去十一日夜旅常盤で純日本物... の活動寫眞をやつたマキノ時代...

ピラチニシガ

待ちばけを喰ふ... 中島總領事一行は七月八日ピラ...

チニシガへ行く

チニシガへ行くといふ程に發表さ... れてあつたので同地方の日本人...

聖フランシスコ

市内ベルグデーの聖フランシスコ... 聖フランシスコの補助金を受ける...

園芸小集

明治十九年二月から日本俱樂部... 園芸小集の通知...

バナマ好況

モヂアナ線カニシヤ在丸林崎三... バナマ好況の報告...

出聖者類々

不景氣に金詰りとしてインテリ... 出聖者類々の報告...

モヂアナより

モヂアナの咖啡が段々古くな... 折付マタラソ商會の經營する...

拓植組合の人寄せ

同組合では何方町歩の土地へ... 拓植組合の人寄せの報告...

マラリヤ

マラリヤの熱病を... 十五日間に全治する...

ESANOFELINA 小供水薬... 預防には日に二粒づつ服用すること...

定期すき焼會... 來る日曜午後クラブに於て定...

尋人

熊本縣人 吉田太吉君へ... 尋人の告知...

吉良米吉

熊本縣人 宮原榮治... 吉良米吉の告知...

告示

對獨戰事ニ因リ損害ヲ被リタル... 告示の告知...

AO Mundo Elegante Henrique Kranz & ia. RUA DIREITA, 21 AO PAULO. お召物出来合品 大賣出!

CASA DAS SEMENTES CARLOS CORRADINI RUA S. CALTANG No. 42 - TEL. 4-637 S PAULO. 新荷着種物各種

CASA GONÇALVES RUA GENERAL CARNEIRO, 53-55 FILIAL. 五十針レリス

廣告 追々農作物の植付期と相成ります。時節柄多忙を極める際、より好く能率の上るプランタ機を使用する事は経済云ふよりは寧ろ痛快限りないものであります。此の度其の良機がこゝに産れました事を皆様様に御告げ致しまして、御愛用の程願ひ申します。

本機星T印プランタ機 の特徴として 種子調節自在 使用軽便 堅牢安價 何卒一度御使用下さい 製造元 青柳虎策工場 販賣元 日伯物産株式會社 聖市ピネイロス、コメルレオ街一

JUNQUEIRA, MEIRELLES & CIA. COMMISSARIOS DE CAFÉ Rua 15 de Novembro No. 63 SANTOS. 謹告 私儀今般上記ジュンケラ、メイレス商會代理人としてリンス、グワイセラ、プロミツソン、モンデヴァアデ、カッフエランジャ各驛に互り珈琲委託販賣取入及びそれと附隨の金融に應ず可く左記に事務所相聞さ候間多少に不拘是非御用命御愛顧の程懇願候 事務所ノロエステ線リンス市 ヌラボピラク街一九 郵函一五三 農田源行

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XV

São Paulo — Quinta-feira, 18 de Julho de 1929

Num. 633

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direção de:
SACK MIURA

Redactor:
Jorge T. Midorikawa

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por anno 30\$000

Por semestre 16\$000

Numero avulso \$500

Para o Exterior:

Por anno 60\$000

ANUNCIOS

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para anuncios nesta folha. Telephone 2-3926

MATRIZ - RIO
Rua Theophilo Ottoni, 85
CASAS NO JAPÃO
NAGOYA, KOBE E YOKOHAMA

Endereço Telegraphico:
"HACHIYA"

Hachiya, Irmãos & Cia.

IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES

R. Brigadeiro Tobias, 110
SÃO PAULO
TELEPH. 4-7608
CAIXA POSTAL, 2670

DO JAPÃO

(Das Nossas Succursaes)

A CRISE FINANCEIRA

Ninguém pode planejar uma empresa de caracter financeiro, enquanto perdurar a prohibição de exportar o ouro japonês.

TOKIO, Junho de 1928 — Contra a expectativa do nosso mundo financeiro, a crise vai infestando toda a classe financeira do imperio, devido á falta de declaração da attitudo do nosso governo perante o problema capital que é a revogação da lei prohibitiva sobre a exportação do ouro japonês. O governo até hoje nada esclareceu a respeito, e se o fez algumas vezes, já em sentidos diversos que não combinam uns com outros, motivando dahi cons-

tantas agitações em toda a classe. Segundo o resultado de um inquerito a que procedeu uma comissão de technicos, só no mercado de titulos verificou-se durante estes dez meses, uma baixa que vai para 3.000.000.000 yens, o que significa a completa inestabilidade dos nossos mercados. Ninguém pode projectar um negocio de caracter financeiro, presentemente, tal a influencia da prohibição da exportação do nosso ouro, por cuja revogação se vem combatendo ha muito tempo.

Foi aperfeiçoada a invenção do contra-almirante Fukui

TOKIO, Junho de 1929 — A recente experiencia levada a effeito no porto de Hiroshima, sobre o novo systema de retirar do fundo de mar navios naufragados, inventado pelo contra-almirante Fukui, da nossa Marinha, revelou-se excelente e eficaz. Em vista do resultado dessa experiencia, o inventor requereu ao ministro da Marinha a permissão para retirar os 15 navios da esquadra Baltica afundados pela esquadra japonesa no Mar do Japão, na guerra rus-

so-japonesa, tendo o requerimento sido deferido pelo titular da Marinha. O contra-almirante Fukui já iniciou os preparativos para atacar o importante "desideratum".

O maior predio da Asia

TOKIO, Junho de 1929 — Acaba de ser inaugurado o "Mitsui Building", considerado como o maior predio da Asia, construido ao lado do antigo predio da Casa Mitsukoshi, nesta capital.

I. SHIOKAWA
UNICO IMPORTADOR
DA PORCELLANA
MARCA
Noritake
SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 98-B
TELEPHONE 4-6387
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

Edição de 8 paginas

DR. S. TAKAOKA

MEDICO - OPERADOR

Rua Fagundes, 8
Tel. 2-4180 S. PAULO

UMA das associações mais perfeitas para incentivar a emigração japonesa, a qual tem sido a fonte de grandes energias creadoras que hoje emprestam suas actividades, em toda parte do universo, á causa deste magno assumpto que é a emigração japonesa. Era esse o conceito que se fazia, até ha pouco tempo, de "Rikkokai", uma velha corporação fundada em Tokio para propagar a idéa emigratoria entre os japonezes.

Hoje, porém, temos de lamentar a fallencia completa da interessante aggregração emigratoria em assumptos emigratorios que lhe são, acreditava-se, peculiares. Esta fallencia brusca da autoridade de "Rikkokai" relativa á materia é, infelizmente, incontestavel, por varios motivos, sendo, porém, principal a recente declaração do seu presidente a um matutino de Osaka, o que é um pouco estranho para nós, que sempre procuramos respeitar a "authority" dessa velha corporação. É devéras pittoresca a opinião do declarante que se revela completamente alheio á verdadeira situação actual da lavoura paulista. Atacando fortemente a actuação da Companhia de Desenvolvimento Internacional, declara o presidente de "Rikkokai" que ha grande falta de verdade no pedido do sr. embaixador japonês ao seu governo para, afim de melhor attender ás exigencias da lavoura paulista, seja dimi-

Jornalistas yankees em viagem de recreio

OSAKA, Junho de 1929 — Os jornalistas norte-americanos que se acham em territorio japonês desde o mez passado, tem sido alvo de homenagens dos seus collegas nipponicos. No dia 31 de maio ultimo, o mundo jornalístico desta cidade offereceu um banquete no jardim de Kuraku, composto de mais de mil talheres, tendo os convivas realizado um passeio de automovel pela estrada Osaka-Kobe, em companhia de mais de cinquenta jornalistas osakaenses. Após o passeio, que se prolongou por tres horas, os jornalistas yankees entraram novamente no restaurante do jardim de Kuraku, dali apreciando o panorama da "Machester" oriental. A noite, o jornalista de Osaka offereceu aos illustres excursionistas um jantar a systema genuinamente japonês. Após o jantar, que terminou ás 7 e meia, os nossos visitantes seguiram para a vizinha cidade de Nara, onde vão continuar as suas excursões.



A METRAGEM DO ARMAMENTO

A descoberta da chimica proporcionou á humanidade um campo que não esperava noutra. Tudo o que parecia antes impossível, vai apparecendo perante nós como se fosse uma filmagem cujas figuras mudam de um momento para outro, chegando á culminancia de annullar e renunciar o que é impossível. A humanidade de hoje perdeu por completo aquella pessimismo que se classificava de *risonko*, envidrando-o com o alcool das antiguidades para sepultal-o, como lembrança da philosophia antiga, no museu das coisas inúteis... E que mais? Uma philosophia moderna, não daquellas traçadas com as mãos de homens de barba branca, mas sim vendidas nos cafés e cabarets, gratuitamente ou em troca de alguns nickels.

Essa philosophia barata abarca também os problemas internacionais. Um exemplo: o plano "Dawes", actualmente alvo de exaltações por parte da imprensa de certos paizes, não é senão um outro "pacto" firmado pelas potencias enquanto a paz não fôr perturbada pelo mal de atacar a vida alheia. A

idéa, fixando o armamento por metragem, da mesma maneira que se medem as fazendas, os fios, a distancia, não deixa de ser magnifica, se fosse possível fixar um metro imparcialmente igual para todas as nações, o que se torna difficil senão impossível. Seria um ideal para a paz mundial e fraternidade universal, se não fosse preciso manter, como lembranças da barbaria humana, essa classe tão inútil quanto dispendiosa que é militar. Appareçam planos que apparecer, venham quantos pactos, enquanto perdurar o regimen da philosophia barata, jamais se livrará a humanidade desse mal de atacar a vida alheia, jamais poderá ella esperar a felicidade que se renunciou com a sepultura do pessimismo *risonko*.

O general Dawes estaria mais á corrente das ondas do modernismo se, ao invés de apresentar o plano de metragem sobre o armamento, cuja realisação se torna difficil theorica e praticamente, inventasse um metro proprio para medir as gargantas dos homens da nossa politica internacional...

Joe Maddi

"O JAPÃO EM SÃO PAULO"

— FUNDADA EM 1906 —

ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL

RUA S. BENTO, 60 — S. PAULO

Telephone: 2-2788

Caixa Postal, 344

NOTAS E INFORMAÇÕES

Sob auspícios do consulado geral do Japão nesta capital, reunirse-á nesta capital, brevemente, uma conferencia medica para deliberar varios assumptos concernentes á prophylaxia dos colonos japonezes residentes no interior do Estado. Tomarão parte nessa conferencia os drs. S. Takaoka, Y. Kikuchi, H. Saito, T. Watanabe e M. Saçada.

De regresso de sua viagem pelo Interior, acha-se novamente nesta capital, o sr. Yoshinobu Tatsuye, presidente da Companhia de Desenvolvimento Internacional Limitada com sede em Tokio, devendo seguir, de regresso para o Japão, pelo paquete "Cap Norte" que deixará o porto de Santos em 9 de agosto p. vindouro.

Movimento

Religioso

O APPARECIMENTO DA "REVISTA CATHOLICA JAPONEZA"

Acaba de ser distribuido o primeiro numero da "Revista Catholica Japonesa", publicação consagrada á educação religiosa dos catholicos japonezes residentes no

NOVO NUMERO DO
NOSSO TELEPHONE:

2 - 3926

PHOTO

OTTO STUDIO

TELEPHONE 2-5400

Rua da Liberdade, 70

SÃO PAULO

"Ainda preferivel!"

A China é actualmente um dos paizes mais desordenados, politicamente. Parece mesmo que falta o fundamento para afirmar que ella fóra a origem da civilização oriental, de onde procedeu também a antiga civilização japonesa. A politica japonesa nessa época não passava, porém, desse estado de coisas em que se encontra hoje a vizinha nação. O governo, pouco estavel ainda; o congresso, ainda no regimen de ensaio, era o campo em que a opposição atacava o situacionismo; a mudança constante de governos, tudo isto dava razão a Frather para declarar que os estrangeiros no Japão se sentiam sem garantia sobre a sua vida e as suas propriedades, se não fosse a jurisdicção exterritorial alli adoptada pelos governos tratados. O talento diplomatico de Aoki não se mostrou, todavia, inclinado diante desta opinião justificavel, e continuou firme:

O nosso regimen constitucional, como ninguém ignora, se acha actualmente no regimen de ensaio, não havendo duvida alguma que elle pareça aos olhos de uma nação como a sua, que conta mais de sete seculos de experiencia, uma brincadeira de crianças. Se, entretanto, comparal-o com os paizes latinos como Espanha, Portugal e Mexico, nada deixa elle a desejar e, se esta comparação se estender á Albania ou Bulgaria, com os quaes, não obstante a sua barbaria completa, a Inglaterra mantém um tratado com igualdade em direitos para ambos, então, não haverá motivo que justifique a recusa por parte da Inglaterra á reforma do nosso tratado.

Um pouco de historia politica da Grã-Bretanha. A demissão do gabinete Gladstone em 1894, motivada ao facto de ter sido rejeitado pelo congresso o projecto do seu chefe, Gladstone, estabelecendo na

FOLHETIM

AS NUENS DO EXTREMO ORIENTE

DE MIDORI KOMATSU

(Traducção de Joe Maddi)

6

Irlanda o regimen de *home rule*, tão desejado pelo povo irlandez, e a organização do gabinete pelo então titular das Relações Estrangeiras, Rosebery, convidando para a sua antiga pasta Kimberley, veio criar em torno da reforma do tratado anglo-japonês difficuldades que se não esperavam, porquanto a agitação interna da politica britannica não permitia aos homens de governo ingleses dar qualquer preocupação á proposta japonês, que ficava cada vez mais aprofundada sob as poeiras de outros assumptos mais momentosos que se sobrepunham á mesma.

Esta situação, cada vez mais difficil em torno da reforma, levou o auctor desta a contemplar o céu de Londres, soltando uns suspiros de desespero, no palacio de Kasumigasaki, onde Mutsu, ministro "navalha", que tudo vê e tudo enxerga, agitava energicamente este problema que restava como lembrança dos tempos feudaes. A vida no palacio era tudo a systema occidental, cujos costumes mais se aperfeiçoaram com a entrada do novo dono. O habito de viver no estrangeiro, como representante japonês, deixou Mutsu e sua familia identificados aos costumes occidentaes, o que mais augmentava a

elegancia do ambiente já muito artistico da residencia ministerial.

Um telegramma de Londres:

Sr. Ministro — Tokio

Reforma não deu entrada até hoje congresso. Declara governo britannico projecto está sendo estudado por technicos. — Aoki, ministro japonês.

No dia seguinte, apparecia na porta da legação britannica em Tokio a figura de Mutsu, sendo encaminhado logo, pelo ministro Frather, para a sala de visita. Tomando o assento, a convite de Frather, no sofá, começa o visitante do palacete da Gobanchô:

Acabo de receber um telegramma do nosso ministro em Londres, communicando-me que a nossa proposta para reformar o tratado entre os nossos paizes não deu entrada no congresso britannico até hoje, tendo o governo inglez declarado ao mesmo que a mesma está sendo estudada por uma comissão de technicos especializados. Desejava saber de V. Excia. se existe nisso qualquer motivo que difficile o andamento da mesma.

Pelas suas faces com que se apresenta, a ultima proposta japonesa, que visa estabelecer igualdade de direitos nas clausulas do tratado com o nosso paiz, careceria que fossem consultados os mais notaveis technicos especializados em direitos internacionais, os quaes não deixam escapar termos de menor importancia, o que consideram como o orgulho profissional. Creio que não será outro a não ser este, o motivo de tamanha demora. Entretanto, posso assegurar a V. Excia. que a proposta será encaminhada com todo apoio ao poder competente, sem restricção alguma que venha prejudicar o desejo da nação e do povo japonezes.